

## 静岡市 OB 職員によるゴミ処理場の浸出水処理指導 ～自治体国際協力専門家派遣事業（中国・遼寧省鞍山市）～

交流支援部経済交流課

日本の自治体には様々な分野において、高い技術と豊富な知識を有する人材が多数在籍しています。こうした人材を専門家として海外の自治体へ派遣し、現地における技術力の向上や人材の育成に寄与しているのが CLAIR の自治体国際協力専門家派遣事業です。

2011 年度は全部で 12 名の専門家を派遣する予定ですが、このうち 2011 年 10 月に中国の遼寧省鞍山市の要請により専門家を派遣した瀬本専門家の報告をご紹介します。

### 指導報告

#### 【派遣内容】

派遣先：中華人民共和国 遼寧省鞍山市人民政府 鞍山市廃棄物処理中心

指導内容：ゴミ処理場の浸出水の処理

専門家：元静岡市職員（2011 年 3 月退職） 瀬本 豊久

派遣期間：2011 年 10 月 8 日～10 月 14 日（7日間）

#### 【現地の状況】

遼寧省鞍山市は、人口約 350 万人の巨大な都市です（中国は市の中に県や村があり、日本の市とは異なります）。この巨大都市のゴミ排出量は一日 1,400 トンに上りますが、焼却施設は一切無く、広大な最終処分場にそのまま埋め立てられています。日本の 40 年以上前のような状況で、排水処理施設も「設置してある」という程度のものでした。

#### 【指導の様子】

そのような状況下で、あまり経費をかけずに埋立地からの害虫、悪臭の発生防止と排水による環境汚染を防止するという観点で、「埋立区域を予め決め、即日覆土」「周回路と埋立地間の水路設備」「既存タンクを利用した曝気」などを提案しました。その結果、タンク内の曝気については行われることが決定し、その際、使用するポンプの具体的なアドバイスへと展開しました。

また、遼寧科学技術大学で日本の処理技術に関する講演を行いました。この講演会は、鞍山市の廃棄物担当が日本の廃棄物処理の技術紹介と予算確保を兼ねて主催されたものです。ここでは市と大学の関係者が数多く出席し、技術的、専門的な質問も多く出されました。



(現場で指導中の瀬本専門家 (左))



(遼寧科技大学で講演中の瀬本専門家)

### 【指導を終えて】

どこでも有ることですが、外部の人間には自分の町の汚いところや悪いところは隠して、良いところだけを見せようとするものです。鞍山市が外国人である私に自ら最終処分場を公開し改善方法の意見や提案を求めたことに、たいへん勇気がいることと感じるとともに、かなりの危機感を持っていることが分かりました。最終日に聞いたところによると、一部は直ちに準備に取りかかり、実行するとのことでした。今後も鞍山市の廃棄物処理に何らかの協力をしていくつもりです。

---

⇒ 自治体国際協力専門家派遣事業の詳細はこちら  
<http://www.clair.or.jp/j/cooperation/special/index.html>

CLAIR